

## 平成30年度 奈良市環境教育推進会議の意見の概要

開催日時	平成31年1月28日（月）午後1時30分から午後3時まで
開催場所	奈良市保健所・教育総合センター 8階 多目的講座室8-1
意見等を求める内容等	(1) 奈良市環境学習プログラムパンフレット及び奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）について (2) 奈良市環境教育推進員の新規募集について (3) その他
参加者	出席者 4名 事務局 4名
開催形態	公開（傍聴人 0名）
担当課	環境部 環境政策課

### 意見等の内容の取り纏め

《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》

奈良市環境学習プログラムパンフレット及び奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）について事務局による説明のあと、参加者に意見を求めた。

奈良市環境教育推進員、奈良市環境学習プログラムの普及を図るべく、取り組んできた奈良市環境学習パンフレットの更新をしたため配布した。

平成30年度版奈良市環境学習プログラムパンフレットの構成について説明する。

1-2 ページ プログラムの一覧を掲載している。

3-43 ページ 各プログラムの紹介を分野ごとに掲載している。

44-50 ページ 奈良市環境教育推進員の一覧を掲載している。

次に、奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）について説明する。平成29年度版奈良市環境学習プログラムパンフレットを奈良市環境審議会では報告した際に、「講師料について、『奈良市環境学習プログラム』を使う際の参加者費用や講師料がわかりにくい。講師料や参加可能人数もわかれば申し込みやすくなる。」「実施するには的を絞りにくい。受講する側が選びやすいものがあまりない。」といった主旨の意見があった。

そこで、意見を反映して、申し込みやすさ、選びやすさに特化した奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）を作成した。構成について説明する。

1-2 ページ プログラムの一覧を掲載している。

3-35 ページ 各プログラムの紹介を分野ごとに掲載している。

36-42 ページ 奈良市環境教育推進員の一覧及びプログラムの早見表を掲載している。

奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版を今年度中に完成させ、次年度行事に活用していただけるよう公民館や自治会等の地域に向けてパンフレットを配布したいと考えている。

奈良市環境学習プログラムパンフレット及び簡易版（案）をご覧ください、より良いパンフレットとなるよう意見をいただきたい。

奈良市環境学習プログラムパンフレット及び簡易版の配布先についてもその他広報先があれば提案をいただきたい。

○質疑・意見の要旨

- ・奈良市環境教育推進員の方々のうち、プログラムの更新や奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）の作成にあたって連絡がつかなかった方には何かコンタクトは取ったのか。  
→継続的に案内をしているが、全ての奈良市環境教育推進員から返答があったわけではない。
- ・奈良市環境教育推進員の方々の継続していく意思確認はどのように行っているのか。  
→継続して案内を送り続けているが、返答のない奈良市環境教育推進員もいる。
- ・新規募集を検討していくこともふまえ、毎年1回更新の意思について確認を取ってはどうか。  
また、次回の新規募集からはその点についても明記しておくが良い。
- ・他の団体で取り組んでいるもので登録を要するものでは、毎年活動報告を必要としているものもある。自治体で取り組んでいる以上そのような点をきっちりしないと活用できない。  
→次回の奈良市環境教育推進員募集にあたっては、その点も整理していく。毎年の報告書についてもルール作りをしていく必要があると考えている。
- ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）について、簡易版と書いているが冊子のページ数が多いように思う。早見表があると良いという点は理解できる。しかし、これから新たに奈良市環境教育推進員を募集しプログラムが増えていくと冊子のページ数がさらに増え、選びにくくなる。例えば、分野ごとに1冊に分ける、複数のプログラムを掲載している奈良市環境教育推進員の方については掲載数の上限を設ける等の絞り込みが必要になるのではないかと。  
→奈良市環境学習プログラムパンフレットを本編、その概要版として奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）があるというように併用していくのか、現行の奈良市環境学習プログラムパンフレットに代わるものとして奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）を改良していくのかで対応が変わってくる。現段階では、早見表を活用していくこととして、もう少し見やすくなるような工夫をしていきたいと考えている。
- ・既に奈良市環境教育推進員に登録している方々は、何でも対応できる方が多い。申込者のニーズに合わせて様々な形式でプログラムが実施できる。それらのさまざまな形式を一つずつプログラムとして掲載すると、探す側としては探しにくくなる。学校の授業用や地域の活動用といったようなパッケージ仕様でプログラムを提示できると探しやすくなると思う。  
→パッケージ化は良いアイデアだと思う。どのようなパッケージが考えられるのか意見をいただけるとありがたい。
- ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、一覧で見られる程度のものにしてはどうか。詳しい内容は既存の奈良市環境学習プログラムパンフレットで見てもらうこととし、奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、早見表とプログラムの概要程度のページ数が少ないものにすれば差別化もできる。
- ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、リーフレットのような数ページのもの

ので良いと思う。

- ・一覧だけの掲載でも良いと思う。
  - ・既存の奈良市環境学習プログラムパンフレットを見てもらえるように、奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）を作成し、一覧と早見表程度のもので良いのではないか。
  - ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）に掲載している分野についても、エコライフ分野についてはもう少し詳しく分類する方が見やすくなると思う。
  - ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、従来のパンフレットに比べわかりやすくなっている。活用事例のようなものがあるとより選びやすくなる。
  - ・市のホームページで奈良市環境学習プログラムパンフレットが見られるのであれば、奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、配布用に広く浅く網羅したものにすれば良い。現在掲載しているプログラムの中にも学校の授業用にパッケージされたものがあるので、校長会等で配布しても良いのではないか。
  - ・公民館の館長会議でも、他課の職員の方が来られて資料配布と説明をされるが、配布資料はA4サイズ1枚程度のものになっている。
  - ・公民館等で利用するのであれば、館長会議等で説明が必要である。
- 活動紹介を中心とした利用促進を図るのであれば、意見が出されたようなリーフレットの配布が有効であると考えられる。
- ・講師料と参加費の合計が支出として必要であることを明記しておく必要があるのではないか。総額としていくら必要かということを示しておく方が良い。
  - ・参加費という名目が誤解をまねくのではないか。材料費や資料代等の名目の方がわかりやすいのではないか。
  - ・資料代は費用として理解できるが、保険代は申込者側で加入している場合もある。保険に関する項目については、申込者であるイベントの主催者側で加入するものではないか。
  - ・奈良市環境学習プログラムパンフレットでは、活動保険代が参加費に入っていることが明記されている。参加費という名目をやめて、材料費、資料代等として、保険については主催者側である申込者で加入してもらおう旨をいれてはどうか。
  - ・交通費は講師料に含まれるのか。
  - ・交通費はケースバイケースだと思う。環境学習プログラムを実施する場所が遠方になれば交通費も欲しいと思う。
- 参加費という名目については、奈良市環境審議会でも意見が出ているので、整理したいと考えている。参加費という名目をやめるにあたり懸念している事項としては、資料館等を活用する環境学習プログラムを実施する場合に資料館の入館料が必要であることが考えられる。そのような費用については一般的な認識として参加費に含まれてくるのではないかという点がある。
- ・入館料のような費用については、備考欄等に別途記載しておけば良い。
  - ・費用の問題については、改めて整理してもらえると良い。
  - ・エコライフ分野をもう少し詳しく分けたほうが良いという意見があったが、ごみ関連のリサイクルや地球温暖化やエネルギー等もう少し細かく分類できると良い。自然環境の分野については項目で分けるのではなく、実施する場所や内容等で分けても良いと思う。
  - ・きっちりと線引きはできないと思うが、自然環境分野については実施場所で山、川、公園、校

庭くらいに分けてはどうか。

- ・分野については、実施するプログラムがいろいろな項目にまたがると思うが、どのカテゴリーに入れるかを奈良市環境教育推進員にチェックしてもらうようにすれば良い。
  - ・どこで講座ができるのかがわかると良い。屋外でしかできないプログラムであると雨天の日に実施できないおそれがある。
  - ・申し込む側も場所でいくつかバリエーションがあればその中で選ばれていると思う。
- 現在の申し込みが少ない状況の要因の一つとして、選択肢がたくさんあって決められないのではないかという点もある。フィールドを分けることで、絞り込みがしやすくなると考えられる。
- ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）は、見開き程度のページ数で作成するのであれば、奈良市環境教育推進員一人当たりの掲載プログラム数を限定しておくが良い。
  - ・奈良市環境学習プログラムパンフレット簡易版（案）には、全てのプログラムを掲載するのではなく、一部をピックアップして掲載し、奈良市環境学習プログラムパンフレットと連動したものでなければならないと思う。

⇒奈良市環境学習プログラムパンフレット及び簡易版（案）について、本日出された意見を参考に、内容を再検討し、次年度配布に向けて作成を進めることとした。

次に、奈良市環境教育推進員の新規募集について、事務局による説明のあと、参加者に意見を求めた。

市内で行われている環境教育事業が環境団体と行政それぞれ単独で行われている状況であることから、これらをつなぎ、総合的に環境教育を推進し、環境教育の拠点となるセンターのような組織として（仮称）環境教育人材ネットワークをつくることを目指し、このネットワークの役割の一つである人材発掘・養成・登録に向けた第一歩として、人材発掘を主眼に置き、実際に講師など環境に関する活動をしている方々を、奈良市環境教育推進員として募集し、登録させていただいた。

現在登録している奈良市環境教育推進員の方々については、募集から約4年が経っていることや、新しい人の入口がないことから、奈良市環境教育推進員の新規募集を次年度に検討している。スケジュールとしては、本日の奈良市環境教育推進会議で是非を含め意見をいただき、奈良市環境審議会にて審議をいただく予定をしている。その後、年度末までに募集の概要をまとめ、次年度当初より募集を開始したいと考えている。また、募集の期間については、次年度のゴールデンウィークが10連休となる見込みもふまえ、少し長めに取りたいと考えている。

応募のあった方々の選考については別途、選考委員会を設置し選考をしたいと考えている。選考委員会委員については、奈良市環境審議会委員、奈良市環境教育推進会議参加者や現在登録いただいている奈良市環境教育推進員等の中から、選考日時に都合のつく数名にご協力をお願いしたい。選考委員会で選考し、奈良市環境教育推進員として新たに登録することとした奈良市環境教育推進員候補者の方にプロフィールと登録を希望される環境学習プログラムの作成をしていただき、新たな奈良市環境教育推進員として公表したいと考えている。

次に、募集の概要について説明する。今回の追加募集については、既に地域等で環境教育に関

する講師等の活動経験がある方について、募集、選考、登録までを行い、次年度中にホームページ等で情報を公開することを目指していきたいと考えている。活動経験がない方の募集については、奈良市環境教育推進員の方々の意見も聞きながら、養成に関する手法等について考えていきたい。

募集の際の応募資格は、前回募集した時と同様に、市内在住、在勤、在学、その他奈良市に関わりのある方と奈良県ストップ温暖化推進員などの資格を有する方、あるいは同等の資格、経験を有する方としている。申込については登録申請書を提出してもらい、選考については書類と面接による選考を考えている。選考については、「奈良市環境教育推進員選考委員会設置要領」に沿って、環境政策課において書面審査、選考委員会で個別面接を実施したいと考えている。

#### ○質疑・意見の要旨

- ・奈良市環境教育推進員登録要項（案）は、更新について明記すると良い。
  - ・募集のサイクルについても明記しておくが良い。
- 奈良市環境教育推進員登録要項（案）の第5条に登録事項の変更については速やかに届け出ることを明記している。
- ・登録事項の変更と更新は別問題であると思う。何らかの項目を入れておくべきである。
  - ・奈良市環境教育推進員も登録時と比較し高齢化していくため、更新については毎年聞いていく方が良い。
  - ・できれば年1回くらいで継続して募集していけると良い。奈良市環境教育推進員を募集した当初は、定期的に集まって勉強会のようなものも検討していたと思う。毎年の募集が難しければ2年に1回でも良いので、継続的に募集をしてもらいたい。
  - ・募集のスケジュールでは、8月末くらいには新たに募集した奈良市環境教育推進員の公表を計画しているが、新年度の事業計画に入れてもらおうとするのであれば9月くらいには周知しないといけない。9月頃に公民館の館長会議に説明に来てもらえれば活用できると思う。奈良市環境学習プログラムパンフレットの更新についても、それに合わせて更新していくと良い。
  - ・応募資格の項目は前回募集した際と変更点はないのか。
- 変更点はない。前回募集した際と同様の条件で募集したいと考えている。
- ・応募資格のア欄の「環境に関する資格を有する方」とウ欄の「上記と同等の資格または経験を有する方」の違いがわかりにくい。ウ欄は資格の項目を削除し「上記と同等の経験を有する方」とする方がわかりやすいのではないか。
  - ・奈良市環境教育推進員に応募する方が記載する登録申請書の欄に資格を記載する欄があるが、資格を持っている証明書の写しを添付する必要はないのか。また、前回の面接に参加させてもらった際は、個別面接のみであった。今回も書類と面接にて選考することのだが、面接だけだと実際に講師が可能であるかがわからない。面接官の前で10分から15分程度の講座をしてもらう方が良いと思う。
  - ・選考委員会の委員は具体的にどのような方を想定しているのか。
  - ・資料の審査票をみると、審査項目に「ア環境に関する資格を有しているか」と応募資格の確認について書かれているが、書類審査を環境政策課で行うならば、面接で審査項目に入れる必要はないのではないか。また、審査項目の「ウ講師を務めるにあたり、言葉遣いや話し方は適当

であるか」については、講師をしている様子を見せてもらう方が審査しやすいと思う。

→選考委員会の委員については、奈良市環境教育推進員の応募人数にもよるが、大勢でなければ奈良市環境審議会委員であり奈良市環境教育推進会議にも参加いただいている座長と副座長にお願いできればと考えている。審査項目のアについては、書類審査の過程で審査する項目であるが、面接時にも確認程度となるがチェックしていただきたい。

- ・確認程度であれば、審査項目のアの標記もそのように修正した方が良い。
- ・審査項目の「イ公平、公正な考え方をしており、自らの考えを相手に強要しないか。」は、どのように審査すれば良いのか。

→審査項目イについては、諸説あるような事象等について、自身の考えのみを断定的に話しているような様子が見受けられないか、客観的な目線で説明ができているかといったところが審査項目になると考えている。

- ・であれば、審査項目のイについて、「強要しないか」ではなく「強要せず説明できているか」という標記にする方がより適切に審査ができる。審査項目のウについては、時間が短くてもかまわないので面接官の前で実際に講座をしている様子を見せてもらわないと審査できないと思う。

→審査項目の標記については修正する方向で検討していく。面接での講座の実施については、面接の進行シナリオの中で対応できると考えられるので検討していく。

⇒本日出された意見を参考に、奈良市環境教育推進員登録要項（案）を修正し、次年度の募集に向けて進めることとした。

次に、今後の予定について、事務局より説明がなされた。

本日意見をいただいた奈良市環境学習プログラムパンフレットや簡易版（案）については、本日の意見を参考に環境審議会へ報告、審議いただき、公表したいと考えている。